

東ト協青年部情報紙



2025年（令和7年）1月28日 年始号 No. 95

（一社）東京都トラック協会青年部 発行

編集者：広報委員長 川島 健太郎（千代田支部・アイ・エス運輸(有)）

東京都新宿区四谷三丁目1-8

TEL: 03-3359-4137

FAX: 03-3359-6020

東ト協HP内青年部ページ QRコード⇒

<https://www.totokyo.or.jp/ttaseinenbu>



『新年のご挨拶ならびに設立40周年記念研修・懇親会への参加お礼』 本部長 佐藤 文平【大田支部・トーヨーエクスプレス(株)】

青年部の皆さま、新年あけましておめでとうございます。また、日頃より青年部活動へのご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

昨年は7月に新宿にて納涼会、10月には石川県輪島市への被災地視察研修、11月は関ト協青年部会主催で群馬県にある榑ボルテックスセイゲンにて研修見学会、そして12月11日(水)に東武ホテルレバント東京で青年部設立40周年記念研修・懇親会の開催と常設の活動に加え様々な活動を行いました。ご参加いただいた皆さまには重ねてお礼申し上げます。

今年度も「わくわく」を追求した各種イベントを執行部一同で計画してまいりますので、是非とも奮ってご参加ください。

さて、先ほどにも記述しましたが昨年の12月11日にて青年部の設立40周年を記念して研修会・懇親会を開催いたしました。



研修会の部では社長に就任して日が浅い方や、次期社長となるべく日々邁進している方が多くいる会員の皆さまにとって興味深いテーマになると確信し、税理士法人古田土会計の代表社員であられる古田土満氏をお招きして、『社長の仕事とは何か』についてご講演いただきました。頂いた資料や講演の内容も一貫して「社員とその家族を幸せにする」「社員にとって心地よい会社を目指す」等、全て「人」にスポットを当ててお話ししていたのが印象的でした。社長の仕事とは、「社員と家族の幸福実現のために会社の発展をさせて利益確保をし、少しでも多く社員に還元をしていく」

を軸に経営理念や経営計画を作成し浸透させ実行に向けていくことであるとおっしゃっていたので、是非とも参考にしてみてください。

懇親会の部では、来賓にロジスティクス研究会の吉本本部長を始め、12名の歴代青年本部長にお越しいただき、お祝いの言葉や思い出を含む数々の歴史話、そして現青年部メンバーに向けた心強くもあり身が引き締まるような応援のメッセージ等もたくさん頂きました。また、今回は多くの青年部員にご参加いただけており、気の合う他支部青年部員との新たな出会いや自身と同世代の他支部部員との出会い等、各々にとって実りある交流ができたことと思います。是非ともこれから何度も顔を合わせるような仲になっていき、交流を深めていただければ幸いです。



改めて来賓の方々や歴代本部長の諸先輩方、ロジ研・女性部からご参加いただいたの方々、そして私のお願いで足を運んでいただいた方や青年部員の方々、今回は参加が叶わなかった青年部員の方々、無事に盛会で終えることができたのは皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

◇トラックフェスタ TOKYO 2024 青柳 貴史【文京支部・青柳運送(有)】

去る2024年9月15日(日)に「トラックフェスタ TOKYO2024」と銘打ったイベントが今年度も代々木公園のイベント広場にて催され、天候にも恵まれた上で大きな事故等も無く盛況のうちに無事閉幕を迎えました。

このイベントの趣旨自体は、都民の皆様には最新のトラック業界の事を知って頂き、交通安全や環境対策、エコドライブやクリーンエネルギー等への理解を今まで以上に持って頂ければ…という所になってはいると思いますが、実際の所は往年のゴレOジャーをモチーフにしたキャラクターが場内を歩き回っていたり、楽しそうな子どもたちの声会場内に響き渡っている様な非常にアットホームなイベントになっております。



個人的にこのイベントは自分の中で夏の終わりの風物詩と勝手に位置付けており、間にコロナ禍による開催中止期間を2年間挟んでしまったものの、初回である2016年から何らかのお手伝い等で常に関わらせて続けて頂いております。



そして本年度のトラックフェスタについてですが、私は「お仕事体験コーナー」というご来場されたお子様に疑似的な出荷や配送、ピッキングのシステムを体験して貰うブースのお手伝いを致しました。例年以上の盛況具合で、多くの元気な子どもたちと触れ合う機会を頂戴して逆にこちら側が元気を貰ってしまいました。

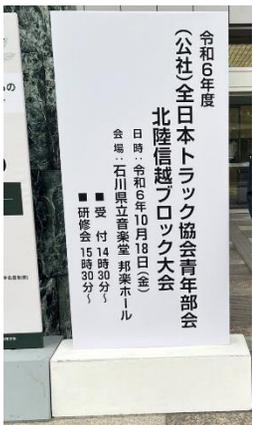
妻が自分の子どもたちもブースに連れて来てくれたのですが、少し恥ずかしい気持ちと日々大きくなっていく子どもの成長を感じられて微笑ましかったです。

例年と違う点という所では、2024年1月1日の元旦に発災してしまった令和6年能登半島地震の復興支援の為、お米やお酒など現地の名産品を物販するブースが設けられ、そのブースも非常に多くのお客様で賑わっていた所が特に目を引く場面でした。

他にも野外ステージではフォトコンテストやダンス動画コンテストなどが行われ、各支部のブースも趣向を凝らしたもののばかりで、そちらの方も大変盛況だった様なので、まだトラックフェスタへご来場された事がない方々がもしいらしたら来年度はもてなす側でももてなされる側でも是非参加をご検討してみてくださいはいかがでしょうか？
最後になりますが、ご来場のすべての方々へありがとうございました！



◇北陸信越ブロック大会・能登半島地震被災地視察研修会 石原 一成【中野支部・中根運送(有)】



全日本トラック協会青年部会 北陸信越ブロック大会が、10月18日(金)石川県立音楽堂にて開催されました。「絆をかたちに～共に描く物流の未来～」のテーマのもと、全国の青年部会員ら239名が出席しました。

研修会では、テーマを「震災の記憶を未来へ～防災と復興への取り組み～」とし、石川県トラック協会青年部会員、協会職員、金沢星稜大学経済学部 中尾 公一様より発表形式で行われました。未曾有の大災害に直面した皆さんの現場で体験した課題や対策・対応について様々な話があり、皆真剣に聞き入っていました。

交流会では、全国の皆さんと交流を深め、石川県無形文化財の御陣乗太鼓は、名将上杉謙信を撤退させたというだけあって、凄まじい迫りに圧倒されました。

翌19日は能登半島地震被災地視察研修に参加しました。バスにて高速道路を使用して向かいましたが、震災の影響で土砂崩れ箇所も多く、何とか通行できるようになってはいたましたが、凸凹やカーブが多く、車が落下して放置されているところもありました。輪島市内の被災状況は想像以上に酷く、10ヶ月経ってまだこんなに倒壊家屋が多いのか…と驚きました。

大本山總持寺祖院では、震災の爪痕をリアルに感じました。寺院は地震に強いと思っていたのですが、建物の倒壊、石畳の波打つ感じなどは、地震の恐ろしさを改めて目の当たりにする形となりました。

少しでも復興支援になれば、と殆ど食さない海産物を輪島出張朝市にて複数店舗で購入させていただきました。

今回の視察を通して、まだまだ復旧・復興は時間が掛かりそうではありますが、被災地を忘れない事、各々ができる範囲での復興支援をしていくこと、また災害への心構えや準備が大切であると考えさせられました。

最後に能登の皆さんの一日も早い復旧復興と生活再建を祈念致します。



行事予定

- ★東ト協三組織「合同セミナー・新年会」【女性部担当】
令和7年2月12日(水) 於：明治記念館
(1) セミナー 16:00～17:30
「物流業界を取り巻く動向について」
国土交通省関東運輸局 局長 藤田 礼子 様(予定)
- (2) 新年会 17:45～19:30
- ★全ト協青年部会「全国大会」
令和7年2月14日(金) 於：京王プラザホテル
(1) 研修会 14:00～17:00
「AI時代の戦略的「モードチェンジ」のすすめ」
講師：藤原 和博 氏
- (2) 交流会 17:15～18:45

能登半島地震被災地視察研修のレポートはこちらからご覧ください！

<https://x.gd/wGrIF>



青年部 Facebook ページ

活動を随時掲載中!!!

QRコードで読み取り⇒⇒

皆様の



をお待ちしております m(_ _)m

